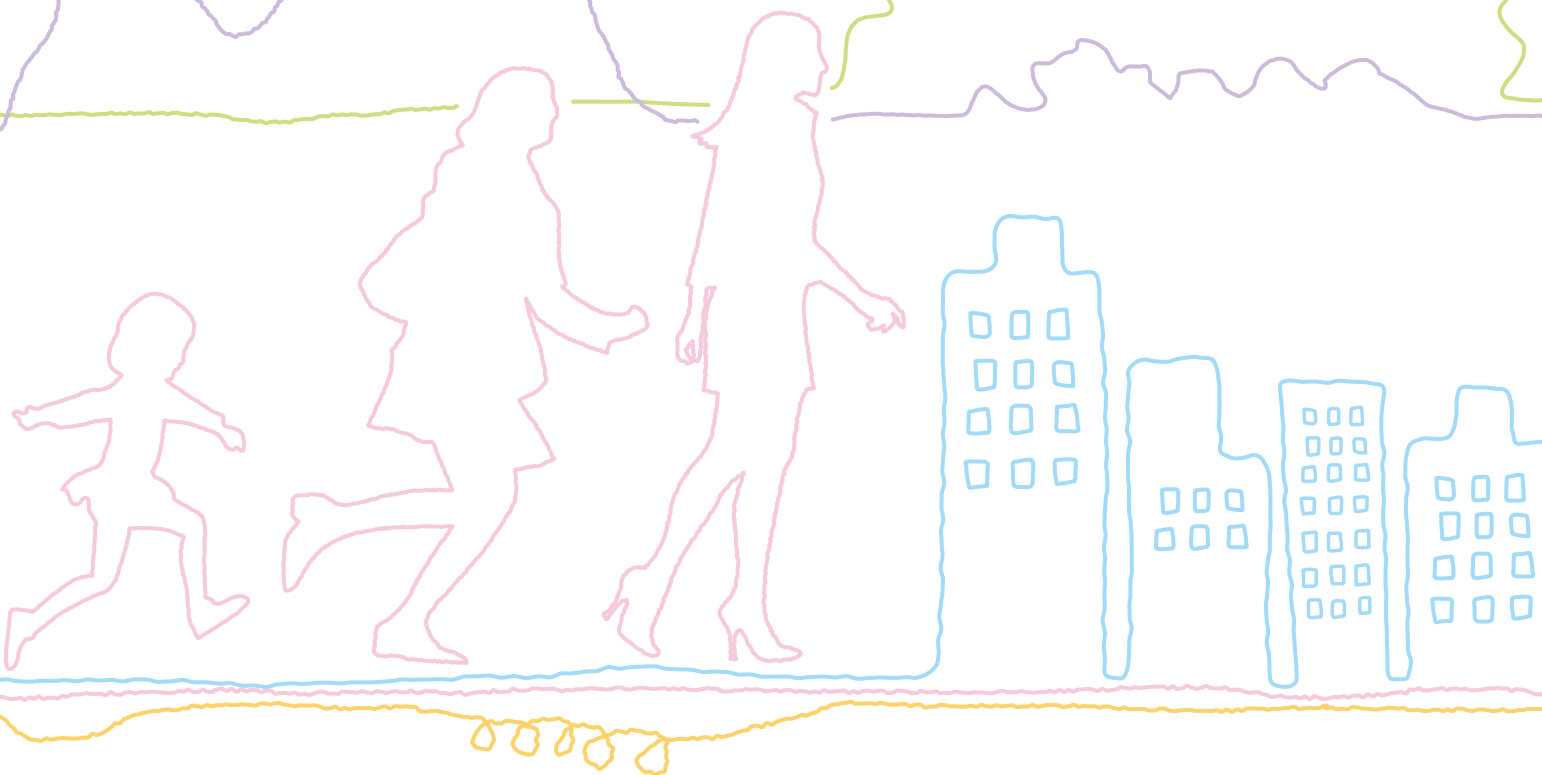
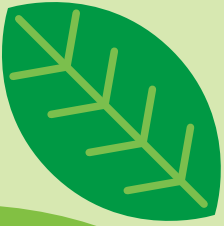


あおもりで

専門職を目指す 女子学生の キャリアを支えます

～ 学生のキモチ と 企業のキモチ をつなぐ～





どこで働く、
どこに住む？
青森県内？
それとも県外？

免許・資格を
活かした仕事が
したい?!

給料はどれくらい？

仕事と
プライベート、
どっちが大事？

学生の キモチ

青森の学生は実のところ、キャリアについてどう考えている？
学生のホンネが知りたくて、インタビュー調査を実施しました。

企業の キモチ

優秀な学生に就職して
もらいたいな…

やっぱり、
就職は都会の有名な
所を選ぶの？

良い所の
アピールって言われても…
うちのアピールポイントは
どこだ？

うちの良い所、
どう伝えたら
学生に届くの？

青森の学生を採用したいのに、うまくいかない。
採用力を上げるためのセミナーを実施しました。



インタビュー調査

平成28年2～3月に青森県内の大学生・卒業生53名を対象に、女子学生のキャリア・生活指向と地元定着の関連を知るためのインタビュー調査を実施しました。

【インタビュー内容】

- ①職種選びから決定までのプロセス
- ②就職先選びから決定までのプロセス、就職先を県内または県外に決定した理由
- ③これからの生活設計・ライフイベントについての考え

【結果】

学生は、「文化・地域に対する価値」「人とのつながり」「仕事・職場に対する価値」「将来設計」の間でバランスを取り、自分が重要と感じている事柄を吟味し、卒業後の生き方を決めていました。



この結果から、学生が地域や職場について正しい情報を得ていくことや、自らのキャリアについて考えていくための支援が必要だと考えました。

そこで、女子学生のキャリア支援WGでは、学生が自らキャリアを考えていけるよう、学生向けセミナーを開催しました。

次ページへ
つづく

大学生向けセミナー



【Session1】女社会 ? 男社会

【企画主旨】

学生が、自分のキャリアの方向づけ(どこでどうやって働くのか、プライベートとの関係、将来のためには何をしておくべきかなど)を考えるためのヒントを探ることを目的として、ゲストの経験を聴き、また、ゲストを囲んでワークショップ形式で意見交換していくセミナーです。

このセミナーでは、学生ひとりひとりが、気づきや発見を持って帰ることができることを目標としています。平成28年度は、session1として、女社会と男社会をテーマに開催しました。

〈日時〉平成28年11月19日(土)13:00~15:30
〈会場〉青森県立保健大学 A棟1F A109講義室
〈参加〉県内の大学・短期大学生 男女16名
〈ゲスト〉〔女社会で働く男性〕大学病院看護師(入職1年目)
〔女社会で働く女性〕幼稚園教諭(入社12年目)
〔男社会で働く女性〕測量会社社長(就任4年目)
〈コーディネーター〉(独)国立女性教育会館事業課 佐伯加寿美さん

セミナー概要

【第1部】ゲストトークセッション



コーディネーターによるオリエンテーションのあと、セッションが開始。3名のゲストが、自身の経験を話してくれました。ゲストを身近に気軽に質問したり、気づいたことを付箋にメモしながら話を聴きました。

【第2部】ワークショップ(ワールドカフェスタイル)

ルール
よく話す、よく聴く、批判しない。

ロール(役割)
学生=参加者、ゲスト=ホスト
運営スタッフ=見守り隊

参加者は、ホストを囲んでそれぞれ気づいたこと・感じたことについての付箋を貼りながら、自由に話し合いました。

ゴール(目標)
「どんな社会がいいか」「社会に出て自分が大切にしたいこと」を話し合い、自分の考えをまとめ、共有しました。



参加者は、各テーブルに付箋を残して移動します。



付箋ワークはこんな感じに。



セミナーの学び

～参加した学生の声～

- ・充実した生活ができるように、仕事を頑張りたい。辛いことばかりではない。
- ・仕事もプライベートも大切にしたい。
- ・「女社会」「男社会」と固まった考えでなく、性別にかかわらず、「一人の人間」「一つの社会」という考えに変わった。
- ・社会常識、身なり、挨拶など、一つ一つのことを重ね、ステップをふんでいきたい。

～まとめ～

ワークショップでは、リラックスした雰囲気の中で、ゲスト・学生どうして交流することができました。学生は、色々な意見を聞き、自分の将来や働きかたについて、考えを深める機会となったようでした。

予告

【Session2】お金 ? 時間をテーマにセミナーを行う予定です。

〈日時〉平成29年6月17日(土)13:00~16:00 〈会場〉青森県立保健大学

【Session3】都会 ? 田舎(ふるさと)は、秋に弘前で開催予定です。

企業向けセミナー

<第1回開催>新卒看護職の採用力向上セミナー(入門編)

【企画主旨】

大学及び大学生目線に立った県内企業の採用力向上支援を、分野・職種別のニーズに合わせて内容をカスタマイズしながら「入門編」「実践編」シリーズで実施していきます。

〈日時〉平成28年12月3日(土)10:00~15:00
〈会場〉ホテル青森3F 善知鳥の間
〈参加〉青森県内の新卒看護職採用を予定している病院11施設42名
(看護部門管理者と採用担当事務職員)

セミナー概要

【第1部】パネルディスカッション

新卒採用の現状や最新のトレンド、事例紹介、採用に当たっての課題や戦略について、具体的にわかりやすく解説していただきました。



高木 茂氏

1.(株)オフィス55 代表取締役 高木 茂氏

中小企業の採用における優先すべき解決策とは

- ①ノウハウの蓄積と採用担当者の選定
- ②魅力再発見と露出
- ③HRM(ヒューマンリソースマネジメント)戦略の再設計



益塚 典子氏

2.名寄市立総合病院 看護部長 益塚 典子氏 教育担当次長 森田 静江氏



森田 静江氏

- ①実習生、新卒者へのアンケート調査
実習で感じた病院や実習指導者の印象、
就職先決定で重視した項目、就職先決定
理由など
- ②アンケート結果に基づいた組織的取り組み
- ③地域との連携:高校生や大学生との触れ合
いの場



大隅 隆広氏

3.(株)エス・エムエスキャリア ナース専科就職ナビグループ責任者 大隅 隆広氏

- ①学生の理解(定量面・定性面)
- ②関東圏の病院の動向
- ③青森県内の病院および自院に対する理解

4.フリーディスカッション

【第2部】ワークショップ

テーマ:「あなたの病院の魅力さがし~これからできること」

コーディネーター:オフィス円香 大坂 彰子 氏

それぞれの病院の魅力の発見と、採用に関する課題を共通認識するためのワークショップです。ワールドカフェスタイルで、グループをシャッフルしながら行います。自分達では気づかない自施設の魅力を他者からのフィードバックで見つけることがねらいです。

- オリエンテーション:ワールドカフェスタイルの説明・ホスト選出
- 第1ラウンド:普段「うちっていいな」と感じる所「こうなったらいいな」と思う所
- 第2ラウンド:採用について何が課題なのか
- 第3・4ラウンド:魅力のフィードバック
- 第5ラウンド:採用課題を解決するためにできること、したいこと
- まとめ・発表:今日の気づきと決意表明



- ・このセミナーは**看護部門**だけでなく、**事務部門**も一緒に参加することが重要です。採用に関する戦略は、看護部門だけで実現できるものではありません。一緒に参加することで、**現状を知って**もらうこと、**協力体制を構築**することが期待できます。
- ・同じ問題を抱える複数の施設で行うことが重要です。できれば他病院に弱みは見せたくないと感じるかもしれませんが、しかし、自分達の組織の本当の姿が見えていますか？他院の職員と意見交換することで、自分の病院を**客観的にみる**ことができます。

青森県は、人口あたりの看護基礎教育の卒業生は多く、看護師輩出力は高い。
しかし、県内就職率は50%程度。新卒者獲得のための戦略は？



- ・採用力の向上は、**基礎理論**を学び、**人を活用**することが必要。
- ・**就職説明会、インターンシップ**など実際に見聞きした情報は、就職に大きな影響を与えている！
- ・就職説明会では、**弱みを見せる！** マイナス面も含めて情報提供を！
- ・インターンシップでは、組織の**空気**を見ている！**人**（看護師）を見ている！イメージとの**ギャップ**を感じ取っている！
- ・**臨地実習**は、自施設を見てもらう最大のチャンス！
- ・学生は、インターネットで情報を集めている。**インターネット情報の充実**を！

「ワークショップの様子」



- ～参加者の声～
- ・いろんな病院の意見が聞けて良かった。
 - ・自院では当たり前と思っていたことが「強み」だとわかった。
 - ・自分達の課題を知ることができた。
 - ・これから取り組む目標が定まった！
 - ・決意表明！インターンシップをやるぞ！！



新卒看護職の採用力向上セミナー（実践編）は、入門編で気づいた自院の魅力を効果的に発信するための具体的な手段を学べるように企画中です。

〈日時〉平成29年11月4日（土） 〈会場〉青森市内を予定

<地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)とは>

地域で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化、地方への人口集積等の観点からは、地方大学が果たすべき役割には、極めて大きな期待が寄せられています。

平成25年度から「地域のための大学」として、各大学の強みを生かしつつ、大学の機能別分化を推進し、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成に取り組んできた「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」を発展させ、地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出、開拓するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としています。

<青森COC+推進機構 女子学生のキャリア支援WGとは>

青森県では、平成27年度から弘前大学が「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」を展開しており、本学も協定を締結いたしました。

この事業の柱の一つとして、「女子学生のキャリア支援教育プログラム開発」があり、青森県立保健大学(主査校)、東北女子大学、弘前医療福祉大学、弘前学院大学、青森中央短期大学がワーキンググループ(以下WG)となって事業展開しています。

平成28年度報告 青森COC+推進機構 女子学生のキャリア支援WG

<女子学生のキャリア支援WG大学>

- ・青森県立保健大学
- ・青森中央短期大学
- ・東北女子大学
- ・弘前医療福祉大学
- ・弘前学院大学

(五十音順)

<お問い合わせ>



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬58-1
TEL:017-765-2144 FAX:017-765-2188
<http://www.auhw.ac.jp>